

## 令和元年度 第1回 京都府立医科大学附属病院監査委員会実施報告

京都府公立大学法人京都府立医科大学附属病院監査委員会規程第3条第1項に基づき監査を実施しましたので、以下のとおり報告します。

- 1 日時 令和元年9月6日(金) 16時01分～17時32分
- 2 場所 京都府立医科大学附属病院 病棟3階 かもがわ会議室
- 3 出席者 (監査委員会) 委員長 松村 由美 (京都大学医学部附属病院医療安全管理室教授)  
委員 平野 哲郎 (立命館大学法科大学院法務研究科教授)  
佐藤 恵子 (京都大学医学部附属病院医療安全管理室特任准教授)  
秋篠 憲一 (同志社大学名誉教授)  
(附属病院) 病院長・管理者 夜久 均  
医療安全管理責任者・副病院長 佐和 貞治  
医療機器管理部長 浮村 理  
医薬品安全管理責任者・薬剤部長 四方 敬介  
医療安全管理部副部長 中村 猛  
医療安全管理部副部長 横田 麻里子  
医療安全管理部安全管理推進者 田中 真紀  
医療安全管理部安全管理推進者 内山 裕美  
医療安全管理部安全管理推進者 浦松 敬宏  
医療機器安全管理責任者・臨床工学技士長 畑中 祐也  
感染対策部長 藤田 直久  
輸血・細胞医療部長 堀池 重夫  
看護部看護部長 藤本 早和子  
医療技術部長 轟 英彦  
事務部長 四辻 直樹  
放射線技師長 中田 克哉  
栄養士長 練谷 弘子  
経営企画課長 菱木 智一  
医療サービス課長 澤村 友一  
病院管理課長 田川 裕隆  
(法人) 総務室長 家垣 卓令

### 4 議 事

次の3つの事項について、資料に基づき確認し質疑応答を行った。

- (1) 死亡事例の報告について
- (2) アクシデント事例の報告について
- (3) 患者満足度調査結果の活用について

次の6つの報告事項について、安全管理推進者等から報告し、質疑応答を行った。

- (1) インシデントレポート報告数（令和元年7月）
- (2) 死亡患者数（平成30年度～令和元年7月）
- (3) インフォームド・コンセントの定期点検結果について
- (4) 急変対応ワーキンググループについて
- (5) リスクマネージャー合同会議について
- (6) 院内の医療安全啓発活動について

## 5 監査結果

### (1) 死亡事例の報告について

- ・ 死亡事例のうち、①原病の悪化と判断した事例と、②医療事故調査制度の該当性を検討し結果的に原病の悪化と判断した事例を取り上げ、その判断の基準について確認した。医療安全管理副部長から、判断の経緯について説明があった。①原病の悪化と判断した事例は、一般的な食道がんの悪化による死亡であるが、医療安全サポート会議及び医療に関する安全対策委員会で医療起因性はなく死亡を予期していたものと判断した。また、②医療事故調査制度の該当性を検討し結果的に原病の悪化と判断した事例は、膵臓がん患者の緩和ケア病棟における転倒事故による死亡であるが、患者本人の意思を尊重した上での転倒事故であり、行動制限がない状況下において転倒を回避することは困難であったこと、また転倒事故の原因については膵臓がんの進行によるものか疼痛緩和ケアによる影響であるか断定できないことから、医療起因性及び予期性の観点から総合的に原病の悪化による事故と判断した。監査委員会は、それぞれの判断については、医療安全管理部門においてカルテ等と照合の上で行われており、適切なプロセスで対応されていることを確認した。

### (2) アクシデント事例の報告について

- ・ 歯科治療の処置中に患者が補綴物を誤嚥し、気管支鏡による異物除去術を行った事例について報告があった。安全PDCAシートにより再発防止策を講じ、診療科で「誤飲・誤嚥対応ガイド」を作成して医局、外来診察室に配備し、また、インシデント、アクシデント発生時報告フローチャートを作成して医局、各診察室に掲示するなど改善を図っていることを確認した。

### (3) 患者満足度調査結果の活用について

- ・ 前回の監査委員会において、患者満足度調査を行っているが、その結果が共有され、医療の質向上のために活用されているのか、委員から質問があったことから、今回、新たに、患者満足度調査について報告を受けた。医療サービス課長から平成30年度及び令和元年度の患者満足度調査結果の活用について報告があり、監査委員会は、院内に掲示する等、適切に対応されていることを確認した。

### (4) その他

- ・ 報告事項「インシデントレポート報告数」について、産婦人科についての報告数の妥当性、職種別インシデント報告数における助産師の取扱、及び看護師の診療科別インシデント報告数について、次回に説明を求め、必要な資料を次回に確認することとなった。